

番 号	15 請願第 2 号 (即 決)
受理年月日	平成 1 5 年 3 月 5 日
件 名	医療改悪の実施凍結と社会保障の充実を国に要請する「意見書」採択について
提 出 者	三鷹社会保障推進協議会 会長 三瓶 和義
紹介議員	岩田 康男、杉本 英騎
要 旨	
<p>日頃、貴職におかれては市民の命と暮らしを守るためにご奮闘されていることに敬意を表します。標記の件につきまして、下記の政府あて事項を内閣および関係省庁に「意見書」として提出して下さるよう請願します。</p> <p>〔請願趣旨〕</p> <p>昨年 7 月政府与党は国民の反対を押し切って、1 兆 5 千億円もの医療費負担増を伴う健康保険改悪法を成立させました。世論調査でも 6 割以上の国民が健康保険法の改悪に反対し、3,000 万筆にもおよぶ反対署名が国会に届けられました。しかし、昨年 10 月には高齢者の窓口 1 割負担(一部に 2 割負担)を実施し、今年 4 月にはサラリーマンの窓口 3 割負担を実施しようとしています。2003 年度予算では国民負担増、給付削減は 2 兆 7,400 億円に達しようとしているのです。「医療改悪をもとに戻せ」の声は国民の 7 割にまで広がっています。</p> <p>不況の時こそ、国の責任で社会保障制度を拡充すべきです。私たちは国民の命と暮らしを守り、ひいては景気回復にもつなげるため医療、年金など社会保障の充実を求めます。</p> <p>〔政府への要請事項〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 4 月から予定されている健保本人 3 割負担を凍結してください。 2 高齢者の窓口負担増を昨年 10 月の改悪前に戻してください。 	